



2020年6月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年5月15日

上場会社名 リファインバース株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6531 URL http://www.r-inverse.com
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 越智 晶
 問合せ先責任者 (役職名) 財務経理部長 (氏名) 北垣 栄一 TEL 03 (5643) 7890
 四半期報告書提出予定日 2020年5月15日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年6月期第3四半期の連結業績（2019年7月1日～2020年3月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年6月期第3四半期	2,195	16.6	△78	—	△96	—	△98	—
2019年6月期第3四半期	1,882	5.5	△175	—	△196	—	△180	—

(注) 包括利益 2020年6月期第3四半期 △98百万円 (—%) 2019年6月期第3四半期 △180百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年6月期第3四半期	△32.33	—
2019年6月期第3四半期	△60.05	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため、記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年6月期第3四半期	3,035	507	16.4	163.28
2019年6月期	3,113	604	19.2	195.62

(参考) 自己資本 2020年6月期第3四半期 497百万円 2019年6月期 596百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年6月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2020年6月期	—	0.00	—	—	—
2020年6月期（予想）	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2020年6月期の連結業績予想（2019年7月1日～2020年6月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	—	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

2020年6月期の期末業績予想につきましては、新型コロナウイルスの感染拡大により当社グループの業績に影響を及ぼす可能性が高まっておりますが、その影響額を算定することは困難な状況となっているため未定とさせていただきます。算定が可能となった時点で改めて公表いたします。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社（社名）ー、除外 ー社（社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年6月期3Q	3,049,950株	2019年6月期	3,049,950株
② 期末自己株式数	2020年6月期3Q	129株	2019年6月期	100株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年6月期3Q	3,049,827株	2019年6月期3Q	3,005,343株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束するものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きくなる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料の入手方法）

四半期決算補足説明資料は当社ウェブサイトに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理)	7
(会計方針の変更)	7
(会計上の見積りの変更)	7
(セグメント情報等)	7
(重要な後発事象)	8
3. その他	8
継続企業の前提に関する重要事象等	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間において当社グループは、産業廃棄物処理事業において基盤となる事業を展開しつつ、今後の成長の核となる再生樹脂製造販売事業の事業領域の拡大に向けて、持続的な成長のための事業基盤の強化、推進に努めてまいりました。

また、更なる事業領域の拡大に向けて積極的に研究開発投資を継続するとともに、グループ各事業の収益管理及びコーポレート機能強化を目的として当連結会計年度より導入した事業部制が機能した結果、各事業部の業績向上に貢献しております。

一方で、新型コロナウイルス感染拡大の影響は、第3四半期の段階では軽微でありました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高2,195,054千円(前年同期比16.6%増)、営業損失78,607千円(前年同期は営業損失175,648千円)、経常損失96,533千円(前年同期は経常損失196,976千円)、親会社株主に帰属する四半期純損失98,599千円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失180,458千円)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

① 再生樹脂製造販売事業

再生樹脂製造販売事業につきましては、ホテル・オフィス関連を中心としたリニューアル需要は底堅く、企業の持続可能な開発目標(SDGs)への取り組みの高まりなどから、弊社へのカーペットタイルの処理委託並びに環境対応製品の基礎原料としての再生樹脂原料の需要はこれまでのところ底堅く推移してまいりましたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響は顕在化し始めており、先行きが不透明な状況となっております。

新規事業として開始した製鋼副資材製造事業は強い需要に応じるために生産ラインはフル操業で供給しており収益に貢献しております。

また、中国の廃プラ輸入禁止措置等により国内の廃棄物処理コストが急騰し、安定的な廃棄物処理先確保が困難になりつつある状況を背景に、当社への廃棄物の有効利用や処理コスト削減に関する引合いが急増してきており、新たなビジネスチャンスを獲得するべく取り組んでおります。更に、高機能樹脂事業においては海洋プラ問題への関心の高まりを受け廃漁網由来ナイロン樹脂への引合いが増加するなど良好な事業環境となっており今後の収益貢献が期待できる状況となっておりますが、新型コロナウイルス感染拡大を受けて政府より発令された緊急事態宣言により、商談のための訪問や当社への工場視察が延期されるなど、ビジネスチャンスを実現するための活動の進捗に少なからず影響を受けることとなっております。この結果、売上高は868,095千円(前年同期比52.2%増)となり、セグメント損失が118,030千円(前年同四半期はセグメント損失151,716千円)となりました。

② 産業廃棄物処理事業

産業廃棄物処理事業につきましては、マンション等のリフォーム・リノベーション案件において、解体工事から収集運搬・中間処理まで一括受注できる体制と小回りを利かしたサービスにより多くの引き合いを頂き、業績に寄与しております。前期で収益悪化の要因であった廃プラ等の処理コスト急騰を価格転嫁することはほぼ終了し、新基幹システム導入とその機能向上を図ることにより現場から管理部門までの伝票処理等のデジタル化によるオペレーションの効率化、管理コストの削減などを実現しております。新型コロナウイルス感染拡大の影響は、第3四半期の段階では軽微でありました。この結果、売上高は1,338,255千円(前年同期比1.3%増)となり、セグメント利益は253,132千円(前年同期比62.0%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は1,020,397千円となり、前連結会計年度末(以下「前年度末」という)と比べ90,279千円減少しております。これは主として受取手形及び売掛金が189,429千円増加した一方、現金及び預金が128,069千円、商品及び製品が62,996千円、未収還付法人税等が81,720千円それぞれ減少したことによるものです。

当第3四半期連結会計期間末における固定資産は1,970,130千円となり、前年度末と比べ25,729千円増加しております。これは、主として有形固定資産が29,362千円増加したことによるものです。

当第3四半期連結会計期間末における繰延資産は44,541千円となり、前年度末と比べ13,535千円減少しております。これは、開業費が13,535千円減少したことによるものです。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は910,005千円となり、前年度末と比べ66,118千円増加しております。これは主として新規借入により短期借入金が増加し、支払手形及び買掛金が114,532千円減少したことによるものです。

当第3四半期連結会計期間末における固定負債は1,617,506千円となり、前年度末と比べ47,066千円減少しております。これは、主として長期借入金が増加し、リース債務が52,672千円増加したことによるものです。

（純資産）

当第3四半期連結会計期間末における純資産は507,558千円となり、前年度末と比べ97,136千円減少しております。これは、主として利益剰余金が98,599千円減少したことによるものです。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年6月期の業績予想につきましては、本日公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」に記載のとおり、新型コロナウイルス感染拡大による影響が不透明であり業績予想の合理的な算出が困難なため、2019年2月14日に公表した通期業績予想を一旦取り下げ未定とさせていただき、算出が可能となった時点で速やかに公表いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	401,970	273,901
受取手形及び売掛金	347,765	537,194
商品及び製品	195,807	132,811
仕掛品	10,733	11,390
原材料及び貯蔵品	29,520	42,190
前払費用	18,737	19,422
未収還付法人税等	81,772	52
その他	26,679	5,464
貸倒引当金	△2,309	△2,028
流動資産合計	1,110,676	1,020,397
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	913,030	948,698
機械装置及び運搬具	1,038,324	1,091,201
工具、器具及び備品	80,556	85,271
土地	102,100	102,100
リース資産	150,052	227,105
建設仮勘定	38,073	33,898
減価償却累計額	△677,719	△814,496
有形固定資産合計	1,644,417	1,673,779
無形固定資産		
投資その他の資産		
投資有価証券	20,000	20,000
繰延税金資産	162,873	162,873
敷金及び保証金	101,386	100,874
その他	13,005	9,100
貸倒引当金	△11,554	△11,464
投資その他の資産合計	285,710	281,383
固定資産合計	1,944,400	1,970,130
繰延資産		
開業費	58,077	44,541
繰延資産合計	58,077	44,541
資産合計	3,113,154	3,035,070

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2019年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	175,569	61,036
短期借入金	—	200,000
1年内返済予定の長期借入金	319,492	316,352
リース債務	34,425	45,103
未払金	180,872	183,133
未払費用	44,565	51,303
未払法人税等	6,368	4,150
未払消費税等	14,256	31,687
賞与引当金	—	7,667
その他	68,335	9,572
流動負債合計	843,886	910,005
固定負債		
長期借入金	1,359,070	1,272,296
リース債務	67,061	119,734
資産除去債務	153,016	153,692
繰延税金負債	26,616	24,843
その他	58,807	46,939
固定負債合計	1,664,572	1,617,506
負債合計	2,508,459	2,527,511
純資産の部		
株主資本		
資本金	439,219	439,219
資本剰余金	487,258	487,258
利益剰余金	△329,775	△428,375
自己株式	△96	△142
株主資本合計	596,605	497,960
新株予約権	8,089	9,598
純資産合計	604,695	507,558
負債純資産合計	3,113,154	3,035,070

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年7月1日 至 2019年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年7月1日 至 2020年3月31日)
売上高	1,882,313	2,195,054
売上原価	1,530,541	1,733,159
売上総利益	351,772	461,895
販売費及び一般管理費	527,420	540,503
営業損失(△)	△175,648	△78,607
営業外収益		
受取利息	306	105
物品売却益	1,022	—
作業くず売却益	668	—
助成金収入	—	9,802
受取保険金	—	2,091
その他	1,816	1,753
営業外収益合計	3,813	13,752
営業外費用		
支払利息	13,084	17,465
開業費償却	11,982	13,535
その他	75	677
営業外費用合計	25,141	31,678
経常損失(△)	△196,976	△96,533
特別利益		
固定資産売却益	2,416	—
新株予約権戻入益	—	208
特別利益合計	2,416	208
特別損失		
固定資産売却損	—	591
特別損失合計	—	591
税金等調整前四半期純損失(△)	△194,560	△96,916
法人税、住民税及び事業税	2,804	3,455
法人税等調整額	△16,906	△1,772
法人税等合計	△14,102	1,682
四半期純損失(△)	△180,458	△98,599
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△180,458	△98,599

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年7月1日 至 2019年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年7月1日 至 2020年3月31日)
四半期純損失(△)	△180,458	△98,599
四半期包括利益	△180,458	△98,599
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△180,458	△98,599
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

I 前第3四半期連結累計期間（自 2018年7月1日 至 2019年3月31日）

株主資本の金額の著しい変動

当社は、第三者割当増資を行い2019年3月29日に払込が完了しております。これにより45,000株の株式発行を行いました。

この結果、当第3四半期連結累計期間において資本金および資本剰余金がそれぞれ30,847千円増加し、当第3四半期連結会計期間末において資本金が439,219千円、資本剰余金が487,258千円となっております。

II 当第3四半期連結累計期間（自 2019年7月1日 至 2020年3月31日）

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間（自 2018年7月1日 至 2019年3月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計
	再生樹脂製造販売事業	産業廃棄物処理事業	計	
売上高				
外部顧客への売上高	564,054	1,318,259	1,882,313	1,882,313
セグメント間の内部売上高 又は振替高	6,202	2,787	8,990	8,990
計	570,257	1,321,047	1,891,304	1,891,304
セグメント利益又は損失 (△)	△151,716	156,218	4,501	4,501

2. 報告セグメント利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	4,501
セグメント間取引消去	△326
未実現利益の調整額	△4,345
全社費用 (注)	△175,477
四半期連結損益計算書の営業損失 (△)	△175,648

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び技術試験費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自 2019年7月1日 至 2020年3月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			合計
	再生樹脂製造販売事業	産業廃棄物処理事業	計	
売上高				
外部顧客への売上高	859,772	1,335,282	2,195,054	2,195,054
セグメント間の内部売上高 又は振替高	8,323	2,973	11,296	11,296
計	868,095	1,338,255	2,206,351	2,206,351
セグメント利益又は損失 (△)	△118,030	253,132	135,102	135,102

2. 報告セグメント利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

（単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	135,102
セグメント間取引消去	—
未実現利益の調整額	676
全社費用（注）	△214,385
四半期連結損益計算書の営業損失（△）	△78,607

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び技術試験費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

（重要な後発事象）

該当事項はありません。

3. その他

継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。